

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [27809] コリバクチン

採取容器

容器 番号	96番	コリバクチン 専用採便容器
		
添 加 剤	Cary-Blair培地	
保 管 方 法	常温	
有 効 期 限	容器表示	

採便容器セットは

- ① 遮光袋
- ② 適切な大便のとり方(便採取説明書)
- ③ 採便シート
- ④ 採便容器

の4点セットとなります。

「便採取説明書」に従い検体を採取し、採取後の採便容器を遮光袋に入れて、採取当日にご提出ください。

受託開始日

- 令和2年10月19日(月)



コリバクチン

現在国内大腸がん罹患者数は年間16万人に上り、臓器別のがん患者数でトップであるだけでなく、罹患者数および死亡者数ともに増加傾向にあります。食の欧米化が原因の一つとされますが、米国では内視鏡などの精密測定の普及により、死亡者数は横ばいもしくは若干減少傾向にあります。

大腸がんは進行が遅くステージI, IIの早期であれば90%程度の患者で治癒が可能であり、健診などでの早期発見が患者のQOLに大きく反映します。

大腸がんの発症原因は不明ですが、腸内細菌によって作り出される毒性物質が原因の一つと考えられています。

コリバクチンは一部の腸内細菌が産生する遺伝毒性物質で、炎症に伴い大量に産生されます。腸管細胞内に入り込んだコリバクチンは遺伝子に結合し、これを破壊することでがんを誘発する機序が報告されています。実際大腸がん患者の70%にコリバクチン産生菌が認められるなど、大腸がんの発症リスク因子の一つと考えられており、精密測定受診への動機づけや、新たな研究項目として有用です。

当社では静岡県立大学で開発された測定法によるコリバクチンの検査受託を開始します。

検査要項

項 目 コ ー ド	27809
検 査 項 目 名	コリバクチン
検 体 量	糞便 ^{*1} [容器番号：96番]
保 存 方 法	冷蔵 (凍結不可) ^{*2}
検 査 方 法	蛍光測定法
基 準 値	(-)
所 要 日 数	12～21日
実 施 料	未収載
検 査 委 託 先	(株)ヘルスケアシステムズ(検査場所(株)アデノプリベント静岡ラボ)
備 考	*1：糞便の採取は専用の指定容器をご使用ください(表面参照)。 検体は採取当日にご提出ください。 抗生物質の服用中、および服用後1週間以内は検査を控えてください。 *2：ご提出いただいた糞便を簡易培養したのちに検査を行いますので、検体を凍結させないようにご注意ください。

参考文献

Pleguezuelos-Manzano C, et.al., Nature, **580** (7802) : 269-273, 2020. [PMID: 32106218]
Hirayama Y, et al., Org Lett., **21** (12) : 4490-4494, 2019. [PMID: 31192617]